東北駆け込み寺

いろは横丁相談室だより

No.25
2022年10月1日

岩沼市で駆け込み寺始まる！



【岩沼駆け込み寺の発足メンバー】

2022年9月から宮城県南部の岩沼市でも駆け込み寺が始まりました。「駆け込み寺の活動をわが町でも」と思い立った有志5名が立上げました。先ずは仙台駆け込み寺の定休日の水曜日に相談を受けます。場所は岩沼市勤労者活動センターの1室を借用します。立上げ後すぐに相談員ボランティア2名の申し込みもありました。

赤い羽根共同募金運動進発セレモニー

2022年9月26日「赤い羽根共同募金運動」が,今年も10月から全国一斉にスターするに先立ち「赤い羽根共同募金運動進発セレモニー」が宮城県庁で開催されました。

東北駆け込み寺は、この募金をうけて活動していますが、宮城県の市民団体を代表して「ありがとうメッセージ」を伝える団体に選ばれました。

【赤い羽根共同募金運動進発セレモニー】

1. 赤い羽根　メッセージ伝達
   厚生労働大臣メッセージ
2. 激励の言葉
   宮城県　　池田　敬之 副知事
3. 主催者挨拶
   宮城県共同募金会　会長　加藤　睦男
4. 受配団体よりありがとうメッセージ
   一般社団法人東北駆け込み寺　理事　永浦　満彦



コラム　『中秋の名月』



先月10日は中秋の名月だった。1年で最も月が美しく見える日だそうだ。普段は夜空を見上げることなどほとんどないが、この日ばかりは外に出て月を眺めた。この日の月は本当に明るかった。遠い宇宙空間に浮かんでいるはずなのに、その光はまっすぐに届き、周囲を照らしていた。

昔は月よりも太陽のほうが好きだった。明るく積極的な友人と、引っ込み思案で地味な自分。月は太陽の光に照らされて光っているだけだと知ったときは、なんだかとても惨めな気持ちになったものだ。しかし秋の月が大地を照らし、夜まで続く収穫作業をする人の助けとなっていたという話を聞いたとき、月のイメージが変わった。

10月8日は後（のち）の月といって、満月ではないがとても美しい月が見られる日らしい。完全でなくとも、欠けていても美しい、その月の姿を愛でる日本独自の風習だ。この日も夜空を見上げて、月を眺めようと思う。

ようこ

9月の相談状況

【相談内容別】

・ＤＶ	1件
・家族の問題	2件
・ストーカー	0件
・家庭内暴力	0件
・心の問題	8件
・仕事の問題	2件
・生活の問題	0件
・SNSの問題	0件
・恋愛の問題	0件
・引きこもり	0件
・住宅の問題	1件
・お金の問題	2件
・その他問題	0件
合計	16件

【年代別】

・10代	1件
・20代	3件
・30代	4件
・40代	4件
・50代	1件
・60代	2件
・70以上	1件
・不明	0件
合計	16件

【男女別】

・男性	7件
・女性	9件
合計	16件

9月ボランティア参加人数

①相談員（仙台、閖上、石巻、岩沼）　80名
②みんなの食堂（石巻）　8名

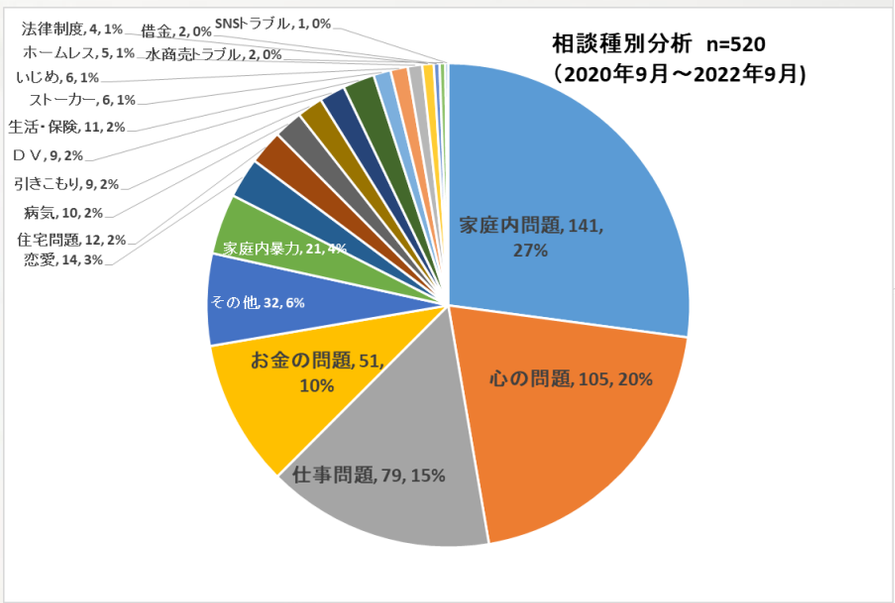
ありがとうございました

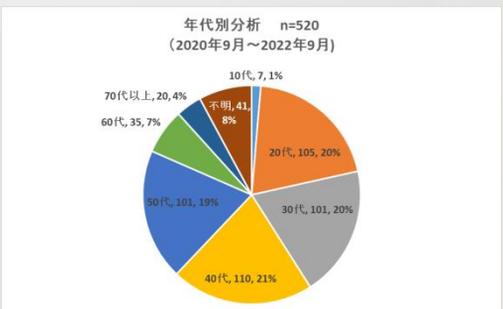
いろは横丁相談室開設2周年特集
東北駆け込み寺2年間の実績

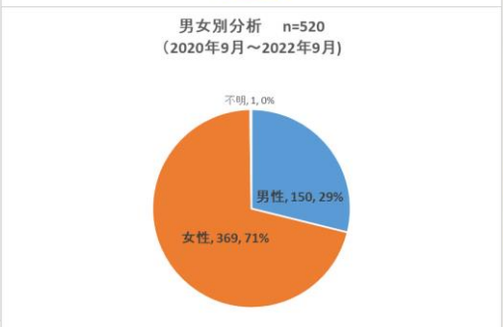
No.25
2022年10月1日

2020年9月に、いろは横丁に相談室を設けて2年が経過しました。この間、多くの人たちのご協力をいただきながら相談者への寄り添いを続けることがきました。スタッフ一同、心より御礼を申し上げます。

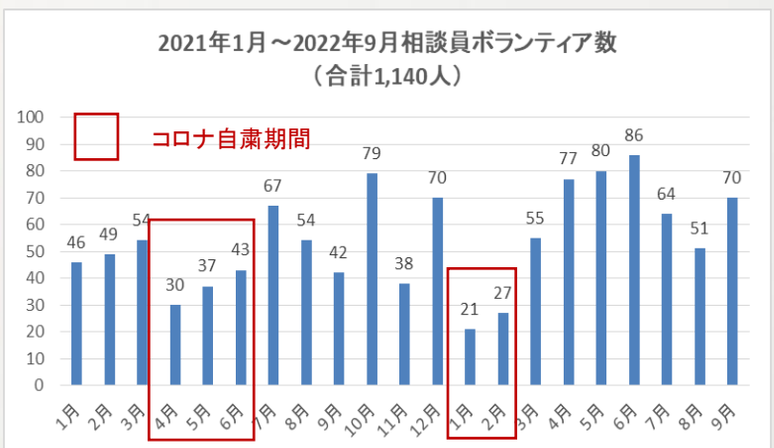
○相談件数（520件）







○相談員ボランティア月別参加人数（のべ1，140人）



○相談室開設

・仙台市いろは横丁	2020年9月～
・閖上復興住宅集会所	2021年6月～
・閖上ハウス	2021年8月～
・石巻ハウス	2021年8月～
・岩沼市相談室	2022年9月～

○報道

新聞

・毎日新聞	2020年 9月25日
・河北新報	2020年11月10日
・河北新報	2020年11月24日
・朝日新聞	2020年11月26日
・読売新聞	2020年12月27日
・河北新報	2021年 7月19日
・河北新報	2021年11月29日
・毎日新聞	2022年 4月19日

テレビ

・NHK仙台「てれまさむね」	2020年 9月1日
・東日本放送「チャージ」	2021年2月18日

○新たな取り組み

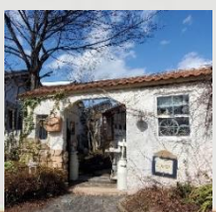
・みんなの食堂（石巻、閖上）	2021年10月～
・女性専用相談室（仙台、名取）	2021年10月～
・親と子どもの読み聞かせ（石巻）	2022年8月～
・ハンドケアワークショップ	2022年10月～

○表彰

令和3年度市民活動応援賞（仙台みどりと風の会）

○組織運営

令和4年4月1日　一般社団法人として法人格取得
代表理事1名、理事2名、監事1名


女性相談室



みんなの食堂